

分科会「ICTを活用した障害者雇用と就労支援の実践」企画（案）

テーマ

ICTを活用した障害者雇用と就労支援の実践 ～広がる選択肢と支援のかたち～

1. 目的

ICTを活用した障害者雇用や就労支援の先進的な実践事例を共有し、「ICTがもたらす新しい働き方」「支援の形」「課題と展望」について、企業・福祉・支援機関・行政が共に考える機会とする。

2. 開催日時：分科会 2026年3月14日（土）13:15～15:00

→CEF全体は2025年3月13日（金）13:30～17:00、14日（土）10:00～16:00

3. 開催場所：大妻女子大学千代田キャンパス（東京）

4. 時間構成（計1時間45分）

時間	内容	担当
13:15～13:25（10分）	開会・趣旨説明・登壇者紹介	司会またはコーディネーター（稲葉氏）
13:25～14:25（60分）	各登壇者による実践発表（各20分×3名）	各登壇者
14:25～14:55（30分）	パネルディスカッション：「ICTが拓く就労支援の未来」	コーディネーター＋登壇者全員
14:55～15:00（5分）	まとめ・閉会	コーディネーター

5. 登壇予定者・発表テーマ（案）

登壇者	所属・職名	発表テーマ（案）
①加藤 哲義 氏	株式会社 沖ワークウェル・事業部長	重度身体障害者の在宅雇用を支えるICTの活用とチームマネジメント
②川崎 壽洋 氏	特定非営利活動法人ぼうしすてむ・理事長	ICTスキルを活かしたA型・B型事業の展開と自立支援の新しい形
③川崎 裕平 氏	社会福祉法人ぷろぼの・ITセンター奈良 センター長	ICTを活用した就労支援・多様な働き方及び支援のデ

		デジタル化
--	--	-------

6. パネルディスカッション構成 (30分)

テーマ：ICTが拓く就労支援の未来 - 「働くこと」の新しい形を考える-

進行案 (コーディネーター：稲葉)

流れ	内容	時間目安
① 導入	各発表の要点を整理し、共通テーマを提示	約5分
② 討議①	ICT活用で「働く」ことはどう変わったか？ (雇用形態・支援内容の変化)	約10分
③ 討議②	ICTを使いこなす上での課題と支援者の役割 (スキル格差、機器環境、チーム支援、支援のデジタル化など)	約10分
④ 討議③	今後の展望と行政・企業・福祉の役割と連携の方向性	約5分

7. その他

今回、オンライン配信は難しくなったのですが、バーチャルオフィスや在宅就労環境の実演・画面共有など、「見せる発表」が必要であれば、調整したいと思います。

8. 最終的な成果

- 1) ICTを活用した就労支援の実践手法と成功要因の共有
- 2) 働く場所・方法の柔軟化を促す新しい雇用モデルの提示
- 3) 福祉と企業の役割と連携の方向性を見出す
- 4) 今後の制度設計や支援現場への具体的示唆を得る